



公益財団法人 名古屋産業科学研究所
第 39 回産業科学フォーラム

日 時 : 2021年1月14日(木) 14時~15時20分

場 所 : オンライン方式で開催

趣 旨 : パリ協定における長期目標を達成に向けて、日本の二酸化炭素削減の約束草案では2030年までに全体で26%、そして業務その他、家庭のいわゆる民生用部門では40%という非常に厳しい目標を提出している。そこで、建築・地域分野の研究者としてこれまで行ってきた研究を紹介し、他分野の新技术も含めての今後の方向性を議論する。

講演プログラム

挨拶 (14:00~14:05) 主催者

講演 (14:05~15:15) 奥宮正哉 上席研究員 (名古屋大学名誉教授)

講演タイトルおよび要旨

「低炭素・その先の脱炭素社会へ向けての民生用エネルギー消費の適正化」

低炭素、その先の脱炭素社会、そしてレジリエントな社会を構築するにあたって、背景として民生用エネルギー消費の適正化の重要性を述べ、この分野にかかわる建築・地域の設備システムにおける種々の対策について私がこれまで行ってきた研究を含めてご紹介する。

具体的には、まず建物・施設そのものを含むシステムの適正化のための計画から運用までのフローを示し、またこれらを要素とする地域のエネルギーシステムの考え方を示す。そして昨今話題になっている ZEB (ネットゼロエネルギービルディング)などを例に、建物の省エネルギーと再生可能エネルギーである太陽エネルギー利用について説明し、また建築設備のポテンシャルと確実に発揮するための性能検証 (コミッションング) の概念と実施例を示す。

さらに、地域のエネルギーシステムについても研究等を紹介するとともに、脱炭素社会における変動する再生可能エネルギーの制御へのデマンドサイドからの貢献についても議論する。

キーワード : 民生用エネルギー、建築・地域、省エネルギー、再生可能エネルギー、性能検証

コロナウイルス感染者が微増傾向にありますので、参加者の安全面に配慮してオンライン方式で開催します。参加費は無料です。参加を希望される方は

公益財団法人 名古屋産業科学研究所・研究部

E-mail: dor@nisri.jp

へご連絡ください。科学技術に興味のある方のご参加を歓迎します。

※WEB 申込みの場合は、「お問い合わせ内容」に「第 39 回産業科学フォーラム参加申込み」と記入してください。また、「必須項目」の記入もお願いします。

* 聴講希望のご連絡をいただきますと、研究部から招待 URL をお送りします。指定の時間に、その招待 URL をクリックすることで、セミナーに参加できます。